事務事業評価シート（1/2）

令和 5年 8月15日
13時25分24秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404015 区画整理課桜井・三河安城係
事務事業　02286　桜井換地事業　　電話番号　0566-71-2261

【基本情報】

計画次数	02　第８次安城市総合計画				
５Ｋの分類	003　経済				
項目（施策）	004　１０都市基盤（市街地）				
施策の方針	005　地域拠点（名鉄桜井駅周辺）の整備促進				
事務事業	003　桜井換地事業				
事業期間	平成11年度 ～ 令和 6年度	26　年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	桜井区画整理特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	定住・移住促進
根拠法令等	土地区画整理法、大都市法、市条例（施行規程）				
備考					

【事業分析】

対象	桜井駅周辺の土地が
目的	利用増進することができるようになります。
手段	土地区画整理事業により、本市南部の地域拠点として位置付けされた桜井駅周辺の都市基盤整備を行い、安全で快適な住環境を備えた市街地を創出します。
事務内容	桜井区画整理事業の換地に関する仮清算、仮換地変更、使用収益開始、証明書発行、保留地分譲、審議会・評価員会の開催等の事務

【コスト】　（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	539,051	1,509,546	462,326
事業費	480,311	1,450,806	430,976
国庫支出金	85,097	58,630	87,500
県支出金	3,569	0	0
地方債	0	0	0
その他	71,403	307,360	223,359
一般財源	320,242	1,084,816	120,117
人件費計	58,740	58,740	31,350
正規（人）	8.90	8.90	4.75
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	(実績) 建物移転戸数 1戸（移転率100%） 使用収益開始面積 57,57590㎡ 保留地処分面積 12,281㎡	(実績) 使用収益開始面積 20,384㎡ 保留地処分面積 4,621㎡	(計画) 保留地処分面積 1,262㎡

事務事業評価シート（2/2）

令和 5年 8月15日
13時25分24秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404015 区画整理課桜井・三河安城係
事務事業　02286　桜井換地事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
家屋移転率（移転戸数÷総戸数（４６２戸）)	%	100.00 100.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	安城市が事業計画において施行者に定められています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	移転等を進め基盤整備をすることで土地利用が図られています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	家屋移転率が100%となり、換地先の土地利用が進んでいます。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	仮換地変更などにより事業進捗の推進につとめています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	統一された補償算定基準により、サービス水準の差がありません。			

【１次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
１次コメント（４００文字）	都市基盤が整備されるに従い、住宅地の需要が高まり人口が増加しているため、事業を継続していく必要があります。今後も引き続き効果的・効率的な事業運営を行い、早期事業完了を目指してまいります。

【２次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
２次コメント（４００文字）	本事業においては、２次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

令和 5年 8月15日
13時25分24秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404015 区画整理課桜井・三河安城係
事務事業　02287　桜井区画整理事業特別会計繰出事務　　電話番号　0566-71-2261

【基本情報】

計画次数	02　第８次安城市総合計画				
５Kの分類	003　経済				
項目（施策）	004　１０都市基盤（市街地）				
施策の方針	005　地域拠点（名鉄桜井駅周辺）の整備促進				
事務事業	001　桜井区画整理事業特別会計繰出事務				
事業期間	平成11年度 ～ 令和 6年度	26　年間			
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業の事業費の一部を一般会計が負担し、資金収支の均衡を図ります。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	278,952	324,690	338,538
事業費	277,962	323,700	337,548
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	168,031	25,116	78,000
その他	0	0	0
一般財源	109,931	298,584	259,548
人件費計	990	990	990
正規（人）	0.15	0.15	0.15
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	一般会計から安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計への繰り出し事務	一般会計から安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計への繰り出し事務	一般会計から安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計への繰り出し事務

事務事業評価シート（2/2）

令和 5年 8月15日
13時25分24秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404015 区画整理課桜井・三河安城係
事務事業　02287　桜井区画整理事業特別会計繰出事務

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市が施行者に対し、行うべき事務です。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	3
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	市が施行者に対し、行うべき事務です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	正確、迅速な事務処理に努め、人件費削減を図っています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	事業計画における資金計画に基づき操出金額を決定しています。			

【１次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
１次コメント（４００文字）	事業計画における資金計画に基づき事務を進めます。

【２次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
２次コメント（４００文字）	本事業においては、２次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

令和 5年 8月15日
13時25分24秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404015 区画整理課桜井・三河安城係
事務事業　02288　桜井区画整理事業債償還事務（元金・利子）　　電話番号　0566-71-2261

【基本情報】

計画次数	02　第８次安城市総合計画				
５Kの分類	003　経済				
項目（施策）	004　１０都市基盤（市街地）				
施策の方針	005　地域拠点（名鉄桜井駅周辺）の整備促進				
事務事業	002　桜井区画整理事業債償還事務（元金・利子）				
事業期間	平成11年度 ～ 令和 6年度	26　年間			
実施方法	直営				
会計区分	桜井区画整理特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業に係る経費から国庫補助金等の特定財源を除いた地方負担額のうち、不足する財源を地方債により借り入れをします。その借り入れした資金に係る元金・利子を償還計画に基づき償還しますが、令和４年度に一括繰上償還します。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	175,591	356,306	0
事業費	174,601	355,316	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	215,556	0
一般財源	174,601	139,760	0
人件費計	990	990	0
正規（人）	0.15	0.15	0.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	地方債からの不足財源の借り入れ、及び償還計画に基づいた元金・利子の償還事務	地方債からの不足財源の借り入れ、及び償還計画に基づいた元金・利子の償還事務	

事務事業評価シート（2/2）

令和 5年 8月15日
13時25分24秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404015 区画整理課桜井・三河安城係
事務事業　02288　桜井区画整理事業債償還事務（元金・利子）

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	事業において借り入れした資金の償還事務です。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	3
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	事業を進める上で必要な事務です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	借入先金融機関は入札により決定しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	借入先金融機関は入札により決定しています。			

【１次評価結果】

事業の方向性	休止・廃止・終了
１次コメント（４００文字）	

【２次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
２次コメント（４００文字）	本事業においては、２次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

令和 5年 8月17日
18時34分14秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404020 区画整理課工務係
事務事業　02265　南明治土地区画整理事業地区外道路等整備事業　　電話番号　0566-71-3751

【基本情報】

計画次数	02　第８次安城市総合計画				
５Ｋの分類	003　経済				
項目（施策）	004　１０都市基盤（市街地）				
施策の方針	002　都市拠点（ＪＲ安城駅周辺）の整備促進				
事務事業	005　南明治土地区画整理事業地区外道路等整備事業				
事業期間	平成22年度 ～ 令和 8年度	17　年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	道路の利用者が
目的	安全に通行することができるようになります。
手段	南明治土地区画整理事業の進捗に合わせ、事業区域から延伸する地区外の都市計画道路等の整備を進めます。 まちなかに賑わいを創出するため、オブジェ等を設置します。
事務内容	第一土地区画整理事業に隣接する道路整備計画の進捗管理、設計業務、工事現場監督、関連事業者との調整、物件調査・補償、用地買収。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	76,060	90,649	443,984
事業費	72,100	81,079	430,784
国庫支出金	23,400	20,950	124,650
県支出金	0	0	0
地方債	21,000	17,900	108,000
その他	0	0	100,000
一般財源	27,700	42,229	98,134
人件費計	3,960	9,570	13,200
正規（人）	0.60	1.45	2.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	地区界の区画道路１０－５号線の一部区間を整備しました。また、（都）南安城横山線整備のため、用地買収、物件移転補償を実施しました。	（都）南安城横山線整備のため、末広橋（第一期分）の主体構造物の工事をしました。また、同路線の用地買収、物件移転補償を実施しました。	前年度から引き続き、末広橋（第一・二期分）の改築工事をします。また、（都）南安城横山線の道路築造、用地測量及び物件移転補償を実施します。

事務事業評価シート（2/2）

令和 5年 8月17日
18時34分14秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404020 区画整理課工務係
事務事業　02265　南明治土地区画整理事業地区外道路等整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
（都）駅前１号線整備進捗率（事業費ベース）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	0.00 0.00
（都）南安城横山線整備進捗率（事業費ベース）	%	21.10 15.50	51.30 24.40	82.30 0.00
区１０-５号線整備進捗率（事業費ベース）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市道の整備であり、市による事業実施が必要です。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	交通渋滞の緩和、自転車、歩行者の安全確保のために必要です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	土地区画整理事業に合わせて進捗しています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	積極的に国、県の補助金を活用し事業を進めています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	他自治体等と同様に基準に沿った整備内容です。			

【１次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
１次コメント（４００文字）	土地区画整理事業の整備効果を高めるため、地区外に延伸する道路を土地区画整理事業と一体的に整備して、交通渋滞の緩和、交通安全の確保を図ります。

【２次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
２次コメント（４００文字）	本事業においては、２次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

令和 5年 8月17日
18時34分14秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404020 区画整理課工務係
事務事業　02266　南明治土地区画整理事業地区外排水路等整備事業　　電話番号　0566-71-3751

【基本情報】

計画次数	02　第８次安城市総合計画				
５Ｋの分類	003　経済				
項目（施策）	004　１０都市基盤（市街地）				
施策の方針	002　都市拠点（ＪＲ安城駅周辺）の整備促進				
事務事業	006　南明治土地区画整理事業地区外排水路等整備事業				
事業期間	平成27年度 ～ 令和 8年度	12　年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	追田排水区及び花ノ木排水区内の住民が
目的	大雨災害に対して安心して暮らせるようになります。
手段	南明治土地区画整理事業の進捗に合わせて、事業区域に接続する地区外の排水路を整備します。
事務内容	整備計画の進捗管理、設計業務、工事現場監督、関連事業者との調整、用地買収

【コスト】　（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	8,730	2,923	0
事業費	1,470	2,263	0
国庫支出金	730	1,100	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	740	1,163	0
人件費計	7,260	660	0
正規（人）	1.10	0.10	0.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	末広雨水幹線及び排水路１－２号の工事を実施しました。	末広雨水幹線及び排水路１－２号の工事を実施しました。	

事務事業評価シート（2/2）

令和 5年 8月17日
18時34分14秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404020 区画整理課工務係
事務事業　02266　南明治土地区画整理事業地区外排水路等整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
末広雨水幹線整備進捗率（事業費ベース）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	0.00 0.00
排水路１-２号線整備進捗率（事業費ベース）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市管理の幹線排水路の整備であり、市による事業実施が必要です。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	大雨時の浸水被害防止に必要な事業であり、ニーズはあります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	土地区画整理事業に合わせて進捗しています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	積極的に国、県の補助金を活用し事業を進めています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	他自治体等と同様に標準に沿った整備内容です。			

【１次評価結果】

事業の方向性	休止・廃止・終了
１次コメント（４００文字）	追田排水区及び花ノ木排水区の浸水被害を抑制するため、土地区画整理事業地区内の排水路整備と同調又は先行して地区外排水路の整備を行いました。

【２次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
２次コメント（４００文字）	本事業においては、２次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

令和 5年 8月17日
18時34分14秒

評価年度　令和 4年度　進捗区分　１次評価
所属　0001404020 区画整理課工務係
事務事業　02285　桜井施設整備事業　電話番号　0566-71-2246

【基本情報】

計画次数	02　第８次安城市総合計画				
５Ｋの分類	003　経済				
項目（施策）	004　１０都市基盤（市街地）				
施策の方針	005　地域拠点（名鉄桜井駅周辺）の整備促進				
事務事業	004　桜井施設整備事業				
事業期間	平成11年度 ～ 令和 6年度	26　年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	桜井区画整理特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト	○	地方創生	定住・移住促進
根拠法令等	土地区画整理法、大都市法、市条例（施行規程）				
備考					

【事業分析】

対象	桜井駅周辺地域の土地利用が
目的	利用増進することができるようになります。
手段	土地区画整理事業により、本市南部の地域拠点として位置付けられた桜井駅周辺の都市基盤整備を行い、安全で快適な住環境を備えた市街地を創出します。
事務内容	桜井区画整理事業の工事に関する計画・施行管理、工事設計及び測量等の事務

【コスト】　（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	402,246	261,372	229,690
事業費	377,166	242,892	216,820
国庫支出金	123,514	32,600	0
県支出金	7,245	9,000	0
地方債	0	0	0
その他	110,314	16,557	68,000
一般財源	136,093	184,735	148,820
人件費計	25,080	18,480	12,870
正規（人）	3.80	2.80	1.95
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	（実績） 道路築造整備延長 L=448m 排水路築造整備延長 L=184m 整地整備面積 A=15,015㎡	（計画） 道路築造整備延長 L=232m 整地整備面積 A=16,000㎡	（計画） 整地整備面積 A=5,230㎡

事務事業評価シート（2/2）

令和 5年 8月17日
18時34分14秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404020 区画整理課工務係
事務事業　02285　桜井施設整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
道路築造率（道路築造済延長÷道路総延長×１００）	%	100.00 99.10	100.00 100.00	100.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	事業計画で安城市が施工者に定められています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	工事等を行い基盤整備をすることで、土地利用が図られています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	道路築造率が１００％となり、沿線の土地利用が進んでいます。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	一般競争入札により競争性を確保しコスト縮減に努めています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	現在の構造規格に合わせ施工しています。			

【１次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
１次コメント（４００文字）	都市基盤が整備されるに従い、住宅地の需要が高まり人口増加しているため、事業を継続していく必要があります。引続き、効率的・効果的に事業運営を行い、令和５年度末の工事完成を目指します。

【２次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
２次コメント（４００文字）	本事業においては、２次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

令和 5年 8月15日
13時27分02秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404070 区画整理課換地係
事務事業　02270　南明治第一土地区画整理事業　　電話番号　0566-71-3751

【基本情報】

計画次数	02　第８次安城市総合計画				
５Ｋの分類	003　経済				
項目（施策）	004　１０都市基盤（市街地）				
施策の方針	002　都市拠点（ＪＲ安城駅周辺）の整備促進				
事務事業	001　南明治第一土地区画整理事業				
事業期間	平成19年度 ～ 令和 8年度	20　年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	土地区画整理法				
備考					

【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、密集市街地の整備改善が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されます。また、美しい市街地景観が形成され、都市機能の整備も図られて、土地利用を増進させることができるようになります。
手段	土地区画整理事業により道路、公園等を整備、街区・画地の整序を総合的に行います。なお、住宅市街地総合整備事業との合併施行により、効率的に市街地整備を進めます。
事務内容	整備に支障となる建物等の移転補償を行うため物件調査、補償交渉を行います。そして、道水路等を整備するため詳細設計、築造工事の施工・管理を行います。また、事業計画や換地計画の作成及び国庫補助申請も行います。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	1,276,078	389,935	735,448
事業費	1,227,898	349,015	703,108
国庫支出金	443,530	80,686	189,000
県支出金	94,100	7,200	5,500
地方債	244,200	51,000	164,000
その他	169	38	300,002
一般財源	445,899	210,091	44,606
人件費計	48,180	40,920	32,340
正規（人）	7.30	6.20	4.90
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	仮換地指定面積5,250㎡ 建物移転戸数8戸 道路築造延長624.0m	仮換地指定面積769㎡ 道路築造延長88.0m	仮換地指定面積858㎡ 建物移転戸数1戸 道路築造延長84.0m

事務事業評価シート（2/2）

令和 5年 8月15日
13時27分02秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404070 区画整理課換地係
事務事業　02270　南明治第一土地区画整理事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
家屋移転の進捗率（戸数）	%	97.50 98.70	99.04 99.02	99.40 0.00
仮換地指定の進捗率（面積）	%	86.00 85.00	85.40 85.70	86.55 0.00
道路築造の進捗率（延長ベース）	%	87.40 87.20	89.90 90.40	92.10 0.00
水路築造の進捗率（延長ベース）	%	98.40 98.40	100.00 100.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	既成市街地の整備であり市自ら事業を実施する必要があります。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	18年に末広・花ノ木から事業促進陳情書が提出されています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	事業費ベースの進捗率は77.6%で順調に進捗しています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	住宅市街地総合整備事業と合併施行を実施しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	補助金を受けるため基準どおりの算定を行っています。			

【１次評価結果】

事業の方向性	拡充
１次コメント（４００文字）	重点密集市街地である当地区の居住環境の改善と防災機能の向上を目指し、安心で安全な市街地の形成と中心市街地としての活性化が図られるよう、本事業を推進します。

【２次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
２次コメント（４００文字）	本事業においては、２次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

令和 5年 8月15日
13時27分03秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404070 区画整理課換地係
事務事業　02271　住宅市街地総合整備事業　　電話番号　0566-71-3751

【基本情報】

計画次数	02　第８次安城市総合計画				
５Ｋの分類	003　経済				
項目（施策）	004　１０都市基盤（市街地）				
施策の方針	002　都市拠点（ＪＲ安城駅周辺）の整備促進				
事務事業	002　住宅市街地総合整備事業				
事業期間	平成18年度 ～ 令和 8年度	21　年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱				
備考					

【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、密集市街地の整備改善が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されます。
手段	土地区画整理事業との合併施行により、効率的に市街地整備を進めます。
事務内容	住宅市街地総合整備事業により、老朽住宅を除却し、耐震性貯水槽・特殊道路・ポケットパーク等を築造します。集会所、仮設住宅、コミュニティ住宅等の供給も行います。また、事業計画の作成や国庫補助申請も行います。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	60,484	27,524	39,079
事業費	42,334	17,954	24,229
国庫支出金	13,300	5,020	5,000
県支出金	0	0	0
地方債	11,800	3,900	4,000
その他	5,958	4,878	5,544
一般財源	11,276	4,156	9,685
人件費計	18,150	9,570	14,850
正規（人）	2.75	1.45	2.25
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	道路築造延長91.0m 仮設住宅の借上げ7戸	道路築造延長88.0m 仮設住宅の借上げ4戸	道路築造延長45.0m 仮設住宅の借上げ1戸

事務事業評価シート（2/2）

令和 5年 8月15日
13時27分03秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404070 区画整理課換地係
事務事業　02271　住宅市街地総合整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
除却家屋の進捗率（戸数）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00
コミュニティ住宅の累計戸数（建設型・借上げ型）	戸数	27.00 27.00	27.00 27.00	27.00 0.00
追田川プロムナード築造の進捗率（延長ベース）	%	69.64 66.20	69.64 66.20	80.80 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	既成市街地の整備であり市自ら事業を実施する必要があります。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	H18年に末広・花の木から事業促進陳情書が提出されています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	事業費ベースの進捗率は99.6%で順調に進捗しています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	土地区画整理事業と合併施行を実施しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	補助金を受けるため基準どおりの算定を行っています。			

【１次評価結果】

事業の方向性	拡充
１次コメント （４００文字）	重点密集市街地である当地区は、狭あいな道路、不整形な過小宅地、密集した木造老朽住宅、既存商店街の活力低下等により防災上の懸念を抱えております。土地区画整理事業との合併施行により、居住環境の改善と防災機能の向上を目指し、安心で安全な市街地の形成と中心市街地としての活性化が図られるよう、本事業を推進します。

【２次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
２次コメント （４００文字）	本事業においては、２次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

令和 5年 8月15日
13時27分03秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404070 区画整理課換地係
事務事業　02273　南明治第三土地区画整理事業　　電話番号　0566-71-3751

【基本情報】

計画次数	02　第８次安城市総合計画				
５Ｋの分類	003　経済				
項目（施策）	004　１０都市基盤（市街地）				
施策の方針	002　都市拠点（ＪＲ安城駅周辺）の整備促進				
事務事業	004　南明治第三土地区画整理事業				
事業期間	平成29年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	土地区画整理法				
備考					

【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、都市機能の整備が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されて、土地利用を増進させることができるようになります。
手段	土地区画整理事業により道路、公園等を整備、街区・画地の整序を総合的に行います。
事務内容	まちづくり協議会活動を支援しながら、区画整理の整備方針を定め、事業化への合意形成を図ります。事業化後においては、整備に支障となる建物等の移転補償を行うため物件調査、補償交渉を行います。そして、道路等を整備するため詳細設計、築造工事の施工・管理を行います。また、事業計画や換地計画の作成及び国庫補助申請も行います。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	9,275	10,780	16,880
事業費	3,665	4,840	5,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,665	4,840	5,000
人件費計	5,610	5,940	11,880
正規（人）	0.85	0.90	1.80
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	まちづくり協議会活動支援	まちづくり協議会活動支援	まちづくり協議会活動支援

事務事業評価シート（2/2）

令和 5年 8月15日
13時27分03秒

評価年度　令和 4年度　　進捗区分　１次評価
所属　0001404070 区画整理課換地係
事務事業　02273　南明治第三土地区画整理事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
まちづくり協議会の開催回数	回	4.00 4.00	8.00 8.00	4.00 0.00
想定換地設計の作成	地区	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
事業計画関連図書の作成	地区	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	既成市街地の整備であり市自ら実施する必要があります。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	H15年に区画整理事業施行区域として都市計画決定されています			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	権利者の熟度を見ながら事業化のタイミングを図っています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	効率的な事業計画及び実施計画の準備を進めています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	事業計画及び算定基準に基づき実施する事業です。			

【１次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
１次コメント （４００文字）	平成１５年に南明治土地区画整理事業として都市計画決定をしてから建築の制限がかかっており、土地利用を規制している状況であるため、早期の事業化が必要です。平成３０年にまちづくり協議会が立ち上がり、勉強会を主催するなど権利者の意識も高まってまいりました。今後もまちづくり協議会を支援し、権利者の皆様とともにＪＲ安城駅周辺のあるべき姿や土地利用の共同化及び高度化について研究を進めながら、事業化のタイミングを図ってまいります。

【２次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
２次コメント （４００文字）	本事業においては、２次評価を実施していません。